

説 教

新年礼拝

北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2021年1月3日〈日〉

主 題：「新年、お宝発見です！」

一超・前向きー

テキスト：コロサイ人への手紙2章1－5節（3節）

はじめに

・ Happy New Year ! 2021年、新しい年が始まりました。

1. 毎年、年末には「宝くじ」というものがあります。

(1) 「年末ジャンボ宝くじ」

・ 1 等 : 10億円（1本）。その確率は1千万分の1。

・ 1等の前後賞：1千5百万円。その確率は500万分の1。

・ 組み違い賞：10万円。その確率は10万1千分の1。

毎年、飽きることもなく宝くじを買う人は、かなりの人数だそうだ。

・ これはどんな確率かといえば、次のようだそうです。

11月1日現在の人口で、東京（人口：1千396万3,751人）と千葉

県（628万697人）の人口の総合計、2,024万4,448人です。

この人々全員が1枚ずつ「宝くじ」を買って当たる確率だそうです。

・ 最近では、「宝くじ」ブームの中で、「宝くじのための確率講座」勉強会が開かれていると聞きます。人は「夢」、「ロマン」を求めています。「宝を探し」に一攫千金の「夢」、「ロマン」を託しています。⇒人は求めている。

● 宝くじ購入経験者は、日本総人口の74.5%、推計人口約7,888万人（現在）

・ 聖書：6:21 あなたの宝のあるところ、そこにあなたの心もあるのです。

マタイ

・ ところで聖書の語る宝とは、どんなものでしょうか？それはこの世の金や銀という価値レベルではありません。今日のみことばは、このように語っています。

「このキリストのうちに、知恵と知識の宝がすべて隠されています。」

（コロサイ2：3）

・ それは人が生きるために必要な、真の「宝」のことです。聖書は、その宝には「知恵」と「知識」が隠されている、と教えています。今日は神が与えてくださるすばらしい「宝」について、2点お語りしたいと思います。

大切なポイント**1. 「知恵」と「知識」の宝**

・ 聖書が教える「宝」は、「ジャンボ宝くじ」のようなものではありません。

それよりはるかに高い確率で、神の教えに従うならば「神の宝」にあずかることができます。その「宝」とは、「知恵」と「知識」で満ちています。

・ 考えてみてください！ 「知恵」と「知識」は、人が生きるための大きな財産です（問題が解決

されることが多い)。天地を創造された神は、神を信じる者たちにその「宝」を与えようとされています。皆さん！素晴らしいことではありませんか。神を信じる者の生活は、「知恵と知識の宝」を探す人生でもあります。まず定義から考えてみたいと思います。

⇒ここで言う「知恵」、「知識」とは何でしょうか

◎「知恵」と「知識」

「知 恵」：天来の神から与えられるもの（天的レベル）

「知 識」：一学問の知識ではなく 先人たちの生きた証し（歴史）

聖書 66 卷は、その宝の蔵であります。聖書：

11:33 ああ、神の知恵と知識の富は、なんと深いことでしょう。神のさばきはなんと知り尽くしがたく、神の道はなんと極めがたいことでしょう。

ローマ

- ・まず神が与えてくださる「知恵」と「知識」の宝は、キリストにあることを覚えてください。当時のコロサイ教会には、グノーシス哲学、また禁欲主義イデオロギーが大きな影響を与えていました。コロサイの信徒はその影響を少なからず受けていました。現代でも、人々は同じように哲学や思想、イデオロギーを掲げ、そして求めています。世界歴史はその繰り返しであります。
- ・パウロは、そのような状況下でこのメッセージを送ったのでした。では、神が与えてくださる「宝」はどうすれば入手できるのでしょうか。

2. 「宝」探しは「シャバット」で始まる（発見）

1) 「シャバット」

- ・ユダヤ教の教えには、「腰をかがめなければ、真理を拾うことはできない」という言葉があります。これは、人は謙虚でなければ学ぶことができないという意味です。ところで、日本人もユダヤ人も勤勉で向上心の旺盛な民族です。しかし、そこには大きな相違点がある。
- ・ユダヤ人は世界に比類がない安息日を持つ民族です。これは神が定められた休息日：「シャバット」です。神は7日からなる1週間を造り、その最後の日、土曜日を安息日（シャバット）とされました。創世記は次のように記録しています。

2:2 神は第七日に、なさっていたわざを完成し、第七日に、なさっていたすべてのわざをやめられた。

2:3 神は第七日を祝福し、この日を聖なるものとされた。その日に神が、なさっていたすべての創造のわざをやめられたからである。

- ・出エジプト記 20 章では、十戒の第 4 戒で次のように語っています。

20:8 安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。

これが聖書の教える安息日であります。

- ・話は変わりますが、日本人は休日というと、疲れやストレスを発散するための効果を期待します。したがって、休日にはゴルフや旅行など「外」に向けて活動しがちです。
- ・一方ユダヤ人は逆で、休日は家にいて家族と過ごします。なにより“自分”と向き合う休日です。休日は、静かに自分を見つめ直すための時間です。

ここに礼拝の奥義のひとつがあります。つまり、内側を見つめ反省するための時間です。

- ・自分と向き合うことを説く宗教は、他にもあります。例えば、仏教の中でも座禅を組み「黙想」する道があります。しかし「シャバット」（安息日）という特別な日を創ったのは、聖書の神だ

けです。すなわち、神はユダヤ民族を通し、私たち人類に「シャバット」の真意を教えてください。

2) 「シャバットにある宝」

- ・では、「宝」を探す方法はどこにあるのでしょうか？

⇒実は「シャバット」にあるのです。

先ほども触れたように、神はイスラエルの民に十戒の第4戒で「安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。」と教えられました。安息日とはどんな日でしょうか？ ⇒「聖なる日」

- ・「聖」：ハギアゾー [hagiazō:ギリシャ語]とは、神の本性です。それは「1点のしみ、汚れもないきよさで、他の何も置くことができないきよさ」です。それは神の栄光が現される「聖・きよさ」です。「安息日を、そのような聖なる日としなさい、と教えています。
- ・では、さらに具体的に「シャバット」はどんな日でしょうか？

- ① 「**安息日は解放の日**」： 束縛の日ではなく、律法からまったく解放される日です。正統派ユダヤ教徒は613の戒めから始まり、約1千ほどの細かい規則の中で、がんじがらめの生活を送っていました。しかし、安息日は人が解放される「心の安息日」のことです。

- ・ある経済学者の言葉：「**ゆったりと間隔を空けて、注意深く仕事の休みをとると、明らかに生産性が増加する**」

- ② 「**安息日は喜びの日**」： 神が創造された大自然という被造物を見て感動覚え、喜ぶことです。さらに素晴らしいことは、私たち人間です。世界でただ1人しかいない私を造ってくださった神が、私を愛していると言われます。ですから神を喜ぶ日です。

- ③ 「**安息日は勝利の日**」： イエス・キリストは死んでよみがえり、勝利を 治められました。

16:33 これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を得るためです。世にあっては苦難があります。しかし、**勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました。**」ヨハネ

- ・「シャバット」は私たちを「罪のなわめ」から解放してくださった方を、喜ぶ勝利の日であります。ですから「シャバット」は始まりです。「シャバット」は神にあって自分と向き合う休日です。ここが神を信じる人と、そうでない人との違いです。

- 少し整理してみましょう。なぜ「宝探し」はシャバットから始まるのでしょうか？ ⇒神にお出会いするからです

- ・シャバットを守ることは、神に出会う機会を得ることです。

「出会いなくして発見はありません」

3) 「お宝を発見」

- ・どうすれば「宝」を自分のものにできるのでしょうか。

結論からいえば、この「宝」は「信仰」によって取り出すのものです。

- ① **イエスは、男5千人にパンを与えた**

マルコ6：34-44 (テキストを読む)

- ・決定的な言葉は、6:37「**あなたがたが、あの人たちに食べる物をあげなさい。**」です。弟子たちは言いました。「**私たちが出かけて行って、二百**

デナリのパンを買い、彼らに食べさせるのですか。」

- ・すなわち、弟子たちは普通の人間的基準で答えました。重要なことは、「信仰」は「信頼」すること。チャレンジです。大切なこと⇒主が語られたお言葉ですから、信頼することです。
- ・イエスは弟子たちに、具体的な問題を少しずつ自分で解決していくよう促されました（37節）。これが神の方法で、信仰とはそのようにして成長していくものです。
- ・今年、神はあなたにお言葉を与えられるでしょう。その時、どうぞ従順であってください。

② 12年長血を患った女性の信仰

ルカ8章43－48節 [テキストを読む]

- ・彼女は長年、自分の体から出血しつづけ、しかも出血が止まらない病でした。この病気は、ユダヤ社会で特別な意味がありました。
 - ① 不義（汚れ）
 - ② 本人の罪の結果
 - ③ 社会的差別を受けた
- ・彼女には他に頼るべき人はいませんでした。完全に見放されていました。この彼女から教えられることは、
 - (1) 先ず彼女は、自分の真実を打ち明けた。そこからイエスとの個人的・人格的交わりが生まれた。
 - (2) 彼女の信仰（信頼）
- ・イエスは彼女に言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。」(8:48)

何が彼女を救ったのでしょうか？ ⇒ 彼女の信仰
- ・具体的には、彼女がイエスの「衣のふさ」に触れるという行動でした。

「着物のふさ」⇒「聖別のしるし」です。 ⇒ 民数記

15:37 【主】はモーセに告げられた。

15:38 「イスラエルの子らに告げて、彼らが代々にわたり、衣服の裾の四隅に房を作り、その隅の房に青いひもを付けるように言え。

15:39 その房はあなたがたのためであって、あなたがたがそれを見て、【主】のすべての命令を思い起こしてそれを行うためであり、淫らなことをする自分の心と目の欲にしたがって、さまよい歩くことのないようにするためである。

15:40 こうしてあなたがたが、わたしのすべての命令を思い起こして、これを行い、あなたがたの神に対して聖なる者となるためである。
- * すなわち、彼女が「衣のふさ」に触れたことは、聖なるお方に触れたことです。「宝」を自分のものにする ⇒ 信仰をもってイエスに触れること(実体験)。なぜなら、「このキリストのうちに、知恵と知識の宝がすべて隠されています。」コロサイ 2:3
- ・聖書が教える「宝」は、イエス・キリストにあります。

ですから、イエス・キリストを知ることです。

主 題：「新年、お宝発見です！」

一超・前向きー

・私たちは「キリストにある歩み！」 にチャレンジしましょう（成長）

「このキリストのうちに、知恵と知識との宝がすべて隠されています。」

コロサイ 2:3

・今日、学んだことは次のようにまとめることができます。

1. 知恵と知識の宝はキリストのうちにある
2. 宝探しはシャバット（安息日）から始まる〔出会い〕
3. 「宝」を自分のものにするには信仰が必須
信仰を持ってイエスに触れましょう

* God bless you !